

# フルボ酸に関する質疑・応答

「大自然の生命の力 フルボ酸」田中賢治・飛田和陽子著作、を参考にしています

## フルボ酸って何ですか？

フルボ酸とはもともと森林や土壌の中に存在する有機酸の 1 つで、植物にミネラルを補給する役目を担っている物質です。恐竜が栄えた時代（ジュラ紀・白亜紀ごろ）には、フルボ酸などの腐植物質も土壌に多く存在していましたが、現在の土壌は質が低下し、フルボ酸などの腐植物質が極端に少なくなっています。なお、腐植物質とは、豊かな土壌を作る物質とご認識ください。

## フルボ酸はどうやって作られるのですか？

自然界の食物連鎖において、生物遺体が土壌に還り腐植物質となった土壌の中で作られます。長い年月を経て重合、複合を繰り返すうちに生成されるもので、主に地中深くの腐植層に存在しています。なお、腐植物質が作られる過程で微生物が介在するため、よく微生物による生成物と誤認されていますが、フルボ酸自体の生成に微生物による分解や発酵は関与していません。フルボ酸の魅力って何ですか？

## フルボ酸の魅力って何ですか？

動物だけではなく植物に至っても、ミネラルが欠乏すると生命維持が不可能です。フルボ酸の魅力は、5 大栄養素の 1 つであるミネラルを永続的にイオン交換してくれることだと言えます。ミネラルなどの栄養素を取り込んだ動植物内の細胞が活性化することで、結果として生体活動を円滑化させるのがフルボ酸だと言えます。

## フルボ酸を一言で表現すると何と言い換えられますか？

「ミネラルの運び屋さん」という表現が一番近いと思われます。自然界に存在する天然の“イオン交換物質”として、鉱物資源であるミネラルを植物が取り入れられやすい姿にし、植物が取り入れたミネラルを、私たち人間などの動物が体内にて吸収し、活動エネルギーに変換するのです。この一連のミネラル循環を作り出している物質がフルボ酸であるため、「ミネラルの運び屋さん」がしっかり来ると考えます。

## フルボ酸はどんな働きをするのですか？

主な働きとしてイオン交換物質としての「キレート作用」と、酸・アルカリを安定化させる「pH 緩衝作用」があります。いずれも動植物に必要な不可欠な働きであり、私たちがフルボ酸を摂取・使用することで、体内環境や肌環境を維持することに役立ちます。なお、この働きの最大の効果は、植物においてはミネラルの吸収効率を高め、土壌障害や生育障害を改善することです。

これにより自然環境を保全するだけでなく、それを摂取する私たちの健康維持にも役立っています。

## フルボ酸は何でも掴(つか)むのですか？

フルボ酸が掴む(キレートする)ことができるものは、イオン交換ができる物質に限られます。よく「フルボ酸は何でも掴んでくれる」と言っている方に出会いますが、“何でも”というのは行き過ぎだにご認識ください。つまりイオン交換ができない“ウイルス”や生物である“細菌”は、当然掴む(キレートする)ことができません。

## フルボ酸で病気が治るって本当ですか？

病気という概念は幅広いため、一言で一概にお答えすることはできませんが、少なくとも“ウイルス性”や“細菌性”による病気をフルボ酸で治すのは国難です。しかし、フルボ酸は不足しがちなミネラルなどの栄養素を積極的に取り入れることで、体内活性を促していく物質であるため、細胞が活性化すれば自然治癒力が働き、体調を元に戻すことは可能です。

## フルボ酸はガンも治すというのは本当ですか？

よくフルボ酸で「ガンが治った」という方の話を聞きますが、残念ながらフルボ酸自体にガンを治す効果はありません。恐らくフルボ酸が取り入れた不足しがちなミネラルなどの栄養素が、体内細胞などを活性化させ、悪性の細胞を自然治癒により退治したと考えられます。よって、ガン細胞に直接働きかける効力や作用は備わっていないことをご理解ください。

## フルボ酸の分子構造を教えてください。

インターネットを調べると、フルボ酸の分子構造式が掲載されているサイトがありますが、実際のところは、明確な分子構造式は作成されていないのが現状です。よって、“現状では一番近い構造式である”という認識程度で、それらの分子構造式を参考にしてください。

## フルボ酸はどんな人にお勧めですか？

フルボ酸は、まだ解明されていない点が多々ある物質です。可能性としては、生活習慣病をはじめ、有害物質を分解する能力により細胞機能を回復し、美肌づくり、アトピー性皮膚炎やアレルギー体質の改善、視力回復や育毛、免疫力アップなど、未知なる可能性を持つ物質としてまだまだ研究が続けられています。

## フルボ酸を摂り過ぎたら害はありますか？

「ミネラルの運び屋さん」であるフルボ酸ですが、薬と同じで多量摂取は逆効果になります。5大栄養素の1つである“ミネラル”は体内の4パーセント程度で十分健康的な体を作り上げることが可能であり、逆に多量摂取しすぎると体内バランスを崩す恐れがあります。フルボ酸自体に多量摂取したミネラ

ルを排出する機能はないため、多量摂取した場合は自然治癒力による排出で体内バランスを整えます。フルボ酸に限らずどんな栄養素でも、摂り過ぎには注意してください。

### フミン酸とフルボ酸の違いを教えてください。

よくフルボ酸と間違われる物質に「フミン酸」というものがあります。フミン酸もフルボ酸と同様に腐植物質から生成される物質ですが、“酸性溶液に可溶”なフルボ酸に対して、フミン酸は“酸性溶液に不溶”であるという根本的な違いがあります。フルボ酸を扱う方でも取り違えて認識している方もいるため、正しい知識で判別していただけると幸いです。

### フルボ酸は酸性ですかアルカリ性ですか？

PH2.5~4.0程度の酸性物質です。たまにPH7.0以上のアルカリ物資をフルボ酸と称している原料もありますが、それでは、そもそもフルボ酸の語尾である“酸”の意味がなくなります。こちらもフミン酸同様に、フルボ酸を扱う方でも取り違えて認識している方もいるため、正しい知識で判別していただけると幸いです。